

高石商工会議所景気観測調査 2023年6月調査

(調査概要)

- 調査対象:高石市内 64 社(業種内訳 製造業14社、建設業13社、小売業・卸売業13社、飲食業10社、サービス業14社)
- 調査時期:2023年6月
- 調査項目:売上高、採算、従業員(人手)状況、業況、資金繰り、物価高の影響
- 調査方法:「FAX、インターネットによる回答」・「職員による調査票に基づくヒアリング」

(全体)



売上高		採算		資金繰り	
増加	19	好転	8	好転	4
不変	25	不変	33	不変	45
減少	20	悪化	22	悪化	14

コロナ禍以前の状況に完全に戻らないものの、売上は増加傾向にある。ただし、**資材、原材料、燃料の高騰などにより採算が悪化**しており、この先も厳しい状況が続くと予測されている。コロナ関連融資の返済開始もあり、**資金繰りについても厳しい状況**が続いている。支援機関や金融機関等への**早めの経営相談**を活用したい。

(製造業)



売上高		採算		従業員	
増加	6	好転	4	不足	1
不変	5	不変	6	不変	13
減少	3	悪化	4	過剰	0

売上を拡大させる企業が増加し、採算も改善傾向にある。しかし、**物価高でマイナスの影響**を受けており、先行きは不透明であると予測されている。**人手不足感も増大**すると予測されており、資金管理に加えて**人員体制計画の重要性が増す**と考えられる。大阪産業局の人材採用コンシェルジュを活用するなど**人材確保にも取り組みたい**。

(建設業)



採算		従業員		資金繰り	
好転	2	不足	2	好転	1
不変	6	不変	11	不変	8
悪化	5	過剰	0	悪化	4

資材の高騰により採算が悪化しており、資金繰りにも影響が出ているなど前回より業況が悪化している。加えて、慢性的に人手が不足している業種であり、今後の事業展開への影響も懸念される。ヒト、モノ、カネなどすべての経営資源に対する対策が必要であり、まずは経営相談等により優先課題の設定に取り組むたい。

(小売・卸業)



売上高		採算		業況	
増加	2	好転	0	好転	0
不変	6	不変	8	不変	7
減少	5	悪化	5	悪化	6

売上低迷に加え、仕入れの高騰の影響により採算が悪化しており、先行きも同様の厳しい状況が続くとの予測である。コロナ禍による業績低迷が依然として続いており、必要に応じてDXなど生産性向上を目指す取り組みが求められる。そのための必要資金については、小規模事業者持続化補助金や事業再構築補助金などの施策を活用したい。

(飲食業)



売上高		採算		業況	
増加	2	好転	1	好転	1
不変	4	不変	3	不変	5
減少	4	悪化	6	悪化	4

コロナ禍の影響がいまだ残り売上回復が遅れていることに加え、原材料の高騰により採算も悪化している。そのため業況は今後も悪化するとの見通しである。コロナ関連融資の返済開始もあり、必要に応じて経営相談や補助金を活用しDX化による生産性向上や新事業展開を進めたい。

(サービス業)



売上高		従業員		資金繰り	
増加	6	不足	2	好転	2
不変	3	不変	10	不変	9
現象	2	過剰	0	悪化	2

売上が回復傾向であり、採算や資金繰りも改善している。しかし、先行きの業況や資金繰りは悪化するとの予測で、従前から人手不足感が大きな業種であり今後の課題は多い。資金繰り表を活用した資金管理や大阪産業局の人材採用コンシェルジュを活用した人材確保など多面的な取り組みが求められる。